

【注意事項】

- 注意 1 表示名は、「企画名_氏名」あるいは「団体名_氏名」としてください。
- 注意 2 本会議のレジュメは、11 月祭公式 Web サイト（<https://nf.la>）に掲載されております。ユーザー名およびパスワードは、事前に連絡したものをご利用ください。
- 注意 3 本会議のミーティングの URL やパスワード、レジュメ掲載ページのユーザー名やパスワードなどを他者に共有する行為は行わないでください。
- 注意 4 発言時以外は、マイクをミュートに設定してください。
- 注意 5 発言を希望する際には、Zoom の「手を挙げる」機能を使用してください。議長が発言者を指名するので、指名されてから発言してください。
- 注意 6 発言時には、企画名あるいは団体名と、氏名を述べるようにしてください。議事録作成中は、発言者を企画名あるいは団体名、氏名で記録しますが、閉会後に議事録が共有される際には、委員長および全学実行委員会内の組織、全学学生自治会同学会内の組織を除いては、アルファベットなどで置換します。
- 注意 7 本会議の円滑な進行を妨害する行為が確認された場合、当該行為を行った者に対して、委員長が退場を命じることがあります。
- 注意 8 本会議において、会議参加者に無断で録画・録音する行為は禁止されています。
- 注意 9 議決・承認は、Zoom の「手を挙げる」機能を使用して行います。
- 注意 10 議決・承認において、離席者が存在するために会議参加者の一部または全部からの応答が得られない場合には、応答がない者を除いて議決・承認を行います。ただし、議決・承認後に、当該離席者からの意見があれば、受け付けるものとしますが、その扱いについては、個別に判断します。
- 注意 11 本会議は、本日 22:00 には、閉会します。

第 1 回 議事録

開会時刻 19:00

閉会時刻 21:53

- 委員長 開会する。昨年度全学実行委員長の細谷である。今年度の全学実行委員長選出まで議長を務める。注意事項読み上げ。「11 月祭全学実行委員会への提案」とかかれたレジュメを参照。議事について異議はあるか。
- 委員長 議事案に沿って進める。1 番の全学実行委員会結成決議に移る。異議のある方はいるか。賛成の方は挙手。
- (承認)
- 委員長 続いて、全学実行委員長の選出を行う。候補、推薦はないか。
- 事務局 11 月祭事務局では、全会一致で経済学部 3 回生並木を推薦する。
- 委員長 他に立候補・推薦はあるか。
- 委員長 それでは、並木を全学実行委員長とすることに異議はないか。賛成の方は挙手。
- (承認・B から反応なし)
- 委員長 議長を交代する。
- 新委員長 ただいま委員長に選出された並木である。(以下、委員長と記述) 議長を兼任することに賛成の方は挙手。
- (承認)
- 委員長 議事の 3、事務局の承認に移る。
- 事務局 例年は全員が自己紹介していたが、今年は昨今の情勢を考慮し、学部・回生・氏名を読み上げるのみとさせていただく。
- (読み上げ)
- 委員長 異議はないか。賛成の方は挙手を。
- (承認・I から反応なし)
- 委員長 承認とする。全学実行委員会本部事務局は結成された。
- 委員長 「全学実行委員会の性格」に移る。レジュメの 2 番を参照。この案について異議・質問はあるか。賛成の方は挙手を。
- (承認・C からチャットにて賛成の意思)
- 委員長 議事の 5 番「事務局の任務及びその姿勢」に移る。レジュメの 3 番を参照。賛成の方は挙手を。
- (承認)
- 委員長 議事の 6 番「諸確認点」に移る。レジュメの 4 番を参照。以上の案について異議・質問はないか。賛成の方は挙手を。
- (承認・E から反応なし)
- 委員長 レジュメの 5 番を参照。以上の案について、異議・質問はないか。賛成の方は挙手を。
- (承認・E から反応なし)

委員長 議事の7番「前年度決算報告」に移る。

事務局 別紙の1を参照。決算内容読み上げ。

委員長 以上の報告について質問はないか。

A 支出の部の「その他支出」について、内訳や目的を詳細に聞かせてほしい。

事務局 その他支出の内訳の大部分はゴミ処理・灰処理費用である。

B 差額については来季への持ち越しか。

事務局 その通りである。

委員長 他に質問はあるか。

A 環境対策費について。模擬店もなく、環境対策委員会の活動もなかったと思うが、なぜ支出されているのか。

事務局 ハードディスク代及びレンタルサーバーの利用代である。

委員長 他に質問はあるか。

C 収入に対して多い支出のぶんは「次年度繰越金」として、収支額が一致するようにするのがふつうかと思われます。(チャットでの発言)

事務局 その通りであるので、次年度以降の参考とさせていただきます。

委員長 他に質問はあるか。この決算報告について賛成の方は挙手を。
(承認)

委員長 次の議事に移る。

事務局 別紙の2を参照。概要から述べる。一昨年の全学実行委員会で承認された日程と、大学がアカデミックカレンダーで発表した日程が異なることが発覚した。これを受けて、事務局では大学に理由を確認した。得られた回答はレジユメの通り。曜日振替が理由である。事務局の見解としては、全学実行委員会で提案された内容が確認なく変更されたことは11月祭の主体的な開催に関わる大きな問題であると認識しているが、レジユメに上げたような内容から11月祭の開催に大きな支障はないと判断した。また、開催形態の話し合いを早急に進める必要がある。これらを総合的に考慮し、11月祭の対面開催の実現を優先して話し合うとの判断に至った。大学に対しては必要に応じて話し合いの場を設けるよう求めている。最後に、レジユメの通りに第64回11月祭の日程を提案する。

D 2点質問がある。このように日程の変更が事務局・全学実確認なく行われた事例は過去にあったか。今後11月祭の開催に大きな支障がある場合は...とレジユメにあるが、どのように求めているのか聞きたい。一方的な日程変更を理由が妥当だからと認めていくと日程短縮や開催形態の交渉においても主導権を当局に握られることを懸念している。3日間開催になる可能性もあり得る。大学当局が学生の主体的な11月祭を管理しやすくなってしまう。今回の件については遺憾の意を表明しなければならないと考える。「全学実行委員会が必要だと判断した場合は話し合いの場を設ける」と明言するべき。

事務局 少し待ってほしい。1点目について。昨年度、第63回の日程についても大学側の提示した日程と全学実との日程が1日ずれていたという事例がある。

D 昨年の全学実でこのような話があったということか。

事務局 一昨年の全学実でこのような議題が取り扱われた。

事務局 2点目の質問について。日程短縮などの具体例を挙げて、大学側に求めている。声明があれば、この場で議論したい。事務局は実務上の問題がない。

- D 事務局が能動的に声明を出すわけではないということは認識した。他の参加者次第ではあるが、何かしら全学実行委員会として検討していきたいと考える。
- 委員長 この件については一旦終了する。改めて提案してほしい。
- E 議論としてよくわからないが、承認とは大学側に提案したということか。平日に **Finale** があるのが困るという理由で提案したという経緯だったと思うが、議事録とその時の判断を示してもらわないとわからない人もいると思う。
- 事務局 承認とは、11 月祭の日程の承認である。
- E 承認した文章の全文を出してほしい。
- 事務局 少し待ってほしい。画面共有の形で出すが、問題ないか。
(画面共有にて説明)
第 64 回 11 月祭の日程が提案された時のレジュメである。
- 委員長 E の方から、何かあるか。
- E この内容を全学実の意思として示すということで承認されたと思うが、話し合いは行われなかったのか。夏頃にアカデミックカレンダーが制定されそうであるから承認が取られたと思うが、その後話し合いはあったのか。
- 事務局 提案はしたが、交渉をしたという記録はない。
- E なぜ交渉をしなかったのか、と感じる。例年なぜ交渉していないのか教えてほしい。
- 事務局 例年は提案したものがそのまま通っていたので交渉はしていなかった。
- E 本年度については事務局と当局で交渉することなくアカデミックカレンダーの決定を行ったという理解だと思う。遺憾である。
- 事務局 事務局としても大きな問題と認識している。
- F このような日程調整に関する問題は今回と昨年度の 2 回であると確認しているが、それ以前はこのような問題は生じなかったのだと思うが、それ以前は大学側が主張してきた理由は問題にならなかったのか。もしないのであれば、これまでどのように対応していたのか。確認の上、次回以降の全学実で報告してほしい。
- 事務局 現在手元に資料がないので、次回の全学実で報告させてもらう。
- B 質問と提案がある。否決された場合はどのような対応を取るのか。抗議文を出すのであれば賛成、ということもあると思うが、それを視野に入れることを提案する。
- 事務局 否決された場合は、この内容を全学実の意思として大学当局と話し合う。しかしながら、日程が変更される可能性はかなり低いと思われる。提案について、事務局としては問題ないと考えている。
- E 休日に **Finale** を実施することが重要と考えているが、この日程には反対である。
- 事務局 他の方の意見も聞きたい。
- D 自分は **Finale** については意見がない。
- 委員長 まず **Finale** について意見がある人は挙手を。
- G **Finale** に関してというより、全体の曜日の話であるが、62 回の全学実では最終的にこの曜日の並びで決定したが、今回大学側に提示された内容も案として上がっていたと思う。1 日目・2 日目と休日が連続することがメリットであった。大学側の決定にもメリットがあるように思うので、一長一短ではある。この件については遺憾であるが、大学側の提示した日程でも問題はないのではないかとと思う。

- 委員長 Finale についての意見は以上で問題ないか。他に意見はあるか。
- D 委員長に質問したいが、条件付きの賛成を認めるのであれば、細かい部分は仕方ないとしてどのような内容を声明に含めるかはある程度明らかにしてかた議決を取るべきだと思うが、それについてはどう考えているか。
- 委員長 条件付きの賛成についてであるが、まずどのような条件かを提示しなければ議決として生合成が取れない。そのため、最初に条件について確認を取った上で議決を取るべきであると考え。
- D 自分からは以上である。
- F D の意見も踏まえ、E の発言について確認したい。先程の G の発言を踏まえて大学側の曜日の配置についてどう考えているのか。
- E 日程的に一長一短であることは事実であると思う。なんでも当局とは逆の主張をするべきではないとも思う。全学実の議決を意図的かはわからないが無視してアカデミックカレンダーを決定したことが問題であると考え。
- 委員長 他に何かある方はいるか。
- G 声明文・抗議文については問題ないと思うが、ここ数年日程決めで揉めるようになったと感じている。例年は明確な手続きを定めずに日程が決まっていたが、大学側も環境の変化があるのかもしれないが日程の決定が難しくなってきた。手続きを文書化してスムーズに交渉していけるようにするのはどうか。声明文とセットでもいいが、何か意見があれば聞きたい。
- E 夏頃にアカデミックカレンダーを決定するのでそれまでに議論するという曖昧な内容となっていたので、しっかりと定めるべきであるように感じる。
- 委員長 他に何かある方はいるか。なさそうであれば、これまで出た意見をまとめていきたい。まず、採決の方法から決めていきたいと思うが、異議はないか。
- 委員長 この採決については、賛成か条件付きの賛成か、反対という 3 つの立場による採決であり、全員が賛成または条件付き賛成の場合、それを全学実の総意とするということで問題ないか。
- 委員長 特にないようなので続ける。条件の部分について、ある程度明確にしなければならないという見方があるが、それについて何か異議のある方はいるか。
- 委員長 それでは、条件について議論を進めていきたい。まず、どのような条件がなければ賛成することができない、といった意見のある方は挙手をお願いしたい。
- D 声明文を全学実名義で提出する、内容がある程度固まっているという点がなければ承認できない。手続きを文書化するという点については、強く求めるわけではないがその方が望ましいように考える。
- 委員長 D の意見に加えて、何かしらの条件を加えることを求める人はいるか。
- 委員長 以上の内容を主な条件として議論を進めることとする。その前に、手続きを文書化することについて確認する。日程交渉の手続きを文書化することが条件に含まれていなければならないと考えている方はいるか。
- 委員長 声明文を全学実名義で提出する、内容をある程度固めることを条件とする。声明文の内容に関して、意見のある方はいるか。
- E 本件は飲酒規制の状況と似ているように感じる。その内容に近いものを声明文として提案

していけばいいと思う。

委員長 飲酒規制の際に出された声明文を参考にすることに問題はないか。

委員長 特にないようなので、事務局はその際の声明文を出すことはできるか。

事務局 少し待ってほしい。

委員長 準備の間に一旦休憩を取る。10 分ほど休憩を取るので、20:45 に再開する。

(休憩)

(再開)

委員長 再開する。これまでの流れを確認する。第 64 回 11 月祭の日程について、条件付き賛成の条件について話し合っていた。声明文の発表がその条件として挙げられ、飲酒問題の際の声明文を参照したいという話になっていた。11 月祭事務局から、このときの声明文を提示することはできるか。

事務局 用意できたので、画面共有で説明する。

(画面共有)

飲酒問題の際の宣言及び附帯決議である。事務局としては、第 61 回の飲酒問題よりも、第 63 回の場合の方が近い状況ではないかと考えている。そちらの方も用意できている。

委員長 第 63 回の開催形態について話し合った際の声明文を事務局の方から共有してほしい。

事務局 (画面共有)

E 確かに 63 回の方を参照した方がいいと思った。個人的には 1 と 2.3 を参照しつつ、大学側と事務局側で議論がなかったという今回の経緯を加えて決議案とするのがいいと考える。

D 異議というわけではないが、全学実から要求があった場合は大学側が話し合いに応じるということを条件として声明文に加えてほしい。

E この件についてではないが、レジュメが見づらいので、どうかしてほしい。

以前 Google ドキュメントとして共有していたが、そのようにはできないのか。

事務局 2 画面で表示するように設定した。Google ドキュメントに関しては、今回は難しいので次回以降の参考とさせていただく。

委員長 D の声明文の内容について、何か意見はあるか。

委員長 声明文については、第 63 回の声明の 1 と 2.3 及び D の「全学実から要求があった場合は大学側が話し合いに応じる」という内容が含まれた声明文を同時に提出するという条件に対して何か異議はあるか。

D 確認であるが、他の条件についてあれば次回以降追加していくということでもいいか。

事務局 一度事務局の方で今出た意見を参考にさせてもらい、案を作成する。それを元に、次回以降の全学実で意見を求めていきたいと考えている。

D それで問題ない。

委員長 このような方針について、何か他にある人はいるか。

H 先程の内容について。全学実から要求があった場合は話し合いに応じる、とすると、アカデミックカレンダーで公表されて初めて事実を知った場合は変更が難しいと思う。提案した内容と違う日程になる場合は大学側が事前に連絡をする、とすべきであると思う。

委員長 H の意見に対して何かあるか。

D 日程変更に限らず、重大な事項が発生した場合にそうすべきだと考えているので、11 月祭の根幹に関わる事項であれば、大学当局が検討した段階で学生側に連絡するということ

にすれば、前述のようなことも含めることができると考える。

E アカデミックカレンダーで初めて知った場合のことであるが、日程調整に関してはある程度スケジュールを定めておくということでもいいのではないか。

委員長 D・H の意見を総括すると、11 月祭の根幹に関わる事項であれば検討段階で学生側に連絡すべきであるということである。この部分に関して、異議のある人はいるか。

委員長 E の意見で 11 月祭の開催日程を決定するプロセスをある程度スケジュールを定めておくという提案がされたが、この案に関して E に確認を取りたいが、条件付き賛成の条件として盛り込むということでもいいか。

E ちょっとわからなくなったので、他の方の意見を聞きたい。

事務局 事務局としては、E の意見には声明文に盛り込むということとは趣旨が異なると思うので、検討の上次回以降の全学実で提案させてもらいたい。

委員長 他に何か意見がある方はいるか。

委員長 条件付き賛成の条件についての話に戻る。声明文の内容について、繰り返しにはなるが第 6 3 回の開催形態に関する声明の 1 と 2.3 に加え、11 月祭の根幹に関わる事項であれば検討段階で学生側に連絡すべきであるということ、以上を含めることについて異議のある方はいるか。

委員長 それでは、議決に移る。先ほど述べたような内容を盛り込んだ声明文を全学実名義で大学に提出することに賛成の方は挙手を。

A 賛成・条件付き賛成の方は挙手と出ているが、これは従来の承認と違うのか、同様なのか、どちらで認識すれば良いか。

委員長 賛成・条件付き賛成で全員の挙手が得られれば全学実の総意と見做せるので、承認と判断できる。

A 昨年度の全学実で、賛成できないが妥協するといった人が複数いた。全体の合意を取る際に賛成ではなく承認という言葉を使った。それは昨年の議論を踏まえずに今年度の解釈ということでもいいか。

委員長 事務局としては何かあるか。

事務局 特にはない。

委員長 昨年の解釈が今年に持ち込まれるとは考えてはいない。承認や賛成に対してという言葉については一般的な意味として捉えている。承認・賛成についてより議論した方がよければ発言してほしい。

A 昨年度の 11 月祭全学実行委員会が単年度組織であるので必ずしも解釈が持ち越されない必要性はないと考えている。しかし、伝統的に全会一致が必ずしも賛成ではないという意味での承認だと考えられていたため、特に異論がなければそのように捉えるのが自然であると考えている。

委員長 A から提案があった通り、ネガティブコンセンサスを含むというような解釈で用いることに異論はあるか。なければ、今年度においてもそのような解釈で用いる事になる。

委員長 特にないようなので、まず議決を取る。条件付き賛成をする際に条件として声明文を全学実名義で大学に提出すること、その内容として先程述べられた 3 点を含むということに賛成される方は挙手を。

(承認)

委員長 声明文を出すということで承認された。

委員長 その上で、11 月祭事務局から提案された日程変更の提案について承認される方は挙手を。
(承認)

委員長 以上で、日程変更の提案が承認され、声明文の提出が決まった。

委員長 続いて、議事の 9 番「諸提案」に移る。何か提案はあるか。

C 今回もそうであるが、全学実の議事について提案したい。事前質問を受け付けるというのはどうか。事務局側の資料探しに時間がかかっており、どういった意見が出てくるかもわからない。新しく会議の場で質問するのもいいが、事前に質問する制度を設けることも提案しておく。

事務局 事務局としても、問題ないと考えている。

委員長 他に何か提案があるか。

環対委 事前にアップロードされたレジュメの「環境対策に関する提案」を見てほしい。諸提案・諸決議とあるが、全体としては提案なので提案という形にさせてもらう。環境への負担の削減・11 月祭参加者への環境問題啓発のために具体的な対策を講じ、これに基づき環境対策委員会を設置することを提案する。

委員長 この提案に関して、異議・質問のある方はいるか。賛成の方は挙手を。
(承認・I から反応なし)

委員長 他に提案のある方はいるか。

事務局 「11 月祭全学実行委員会への提案」と書かれたレジュメの 8 番を見てほしい。今年度の統一テーマ公選の日程はレジュメの内容を案としたい。

委員長 異議や質問のある方はいるか。特になければ、賛成の方は挙手を。
(承認)

委員長 それでは、承認とする。他に何か提案はあるか。

委員長 諸決議に移る。レジュメの 9 番を見てほしい。以上の案について、異議・質問はないか。賛成の方は挙手を。
(承認)

委員長 予定されていた議事は以下の通りであるが、他に何かあるか。

E 議事録の公開をお願いしたい。去年はしていたか。

事務局 今年度も昨年に引き続き議事録の公開をしていきたい。

委員長 他に何かあるか。

委員長 全体を通して何かあるか。

A 今日の議事とは関係ないが、今年度もコロナウイルスの流行状況は読めないが、現状の開催形態に関してどのような議論がなされてあるか、その結果どのような成果が得られているのか現状の経過を教えてほしい。特に模擬店企画について教えてほしい。

事務局 新型コロナウイルスの流行状況は読めないが、現在は模擬店も含めた例年通りの対面開催を前向きに検討している。

A 具体的な検討を今後していくことになると思うが、途中経過、特に模擬店企画について知らせてほしい。

F 今回の全学実も Twitter で通知があったが、Web サイトで見るときに探すのが難しかったので見やすくしてほしい。

事務局 担当者の方をお願いしておく。不便をかけて申し訳ない。

委員長 議事録の承認に移る。承認する方は挙手を。

(承認)

委員長 他に何かあるか。何もないようであれば 11 月祭全学実行委員会を閉会する。